

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 9 月 4 日現在

機関番号：32670

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2013～2016

課題番号：25380779

研究課題名(和文) 東アジアの地域文化に即した地域包括ケア人材育成の方法論に関する日中比較研究

研究課題名(英文) The Japanese and Chinese comparative research on methodology about skill development for the staff in The Integrated Community Care System which based on East Asian cultures

研究代表者

沈 潔 (shen, jie)

日本女子大学・人間社会学部・教授

研究者番号：20305808

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,300,000円

研究成果の概要(和文)：日本介護の現場における職業教育及びスキルアップという生涯教育の知見は、中国ないし東アジア地域に共有化するに値する方法論を明示することが主な研究成果である。共同参画・共同開発という趣旨に基づき、介護領域に活躍している日本と中国の研究者及び実務家を招聘し、日本で合計6回のワークショップを行い、共同作業によって日本の経験を生かす教育プログラムを開発した。一方、中国公益学院の協力を得て、日本介護の知見を参考に編集した「介護施設長研修テキスト」は、中国介護職員研修の現場に導入し、日本介護人材育成の理念及び実技が、中国と共有化できるアプローチや教育のプロセスを明示した。

研究成果の概要(英文)： Through the study, the text on vocational education and skill improvement in the field of nursing care was developed and shared in China and East Asia region. Through six workshops conducted, researchers and practitioners from Japan and China in the nursing care participated and developed an educational program, which source was originated from Japanese experience. Working with China Philanthropy Research Institute, "Nursing care center manager's training" was developed to serve for the nursing care site in China. The outcome of the study is that the philosophy and practical skills on human resource development in nursing care in Japan was shared among the respective field in China.

研究分野：社会福祉

キーワード：東アジア 地域文化 ケア人材 地域包括ケア 方法論 日中比較

1. 研究開始当初の背景

少子高齢化が急速に進む中国では、東アジア地域の生活文化に即した地域ケア人材の育成領域で長らくリードしてきた日本の経験に強い関心を持っており、日本介護モデルを中国のお手本の一つとしてみなしてきたと見られる。一方、日本においては、介護人材に係る実践キャリアアップ戦略を将来的に日本国内だけでなく、アジアを中心とした海外にも展開することを目標とする方針を明らかにした。

しかし、日本の地域ケア人材育成モデルを海外に広めていく際、そのモデルの汎用性と限界を見極める必要があり、また、海外へ広めていく過程でそのモデル自体が新たな刺激を受け入れながら、進化させていくことも必要である。すなわち、人材育成の方法論を追究し、共有化していく研究というのは、日本にとっても東アジア諸国にとっても期待されている。

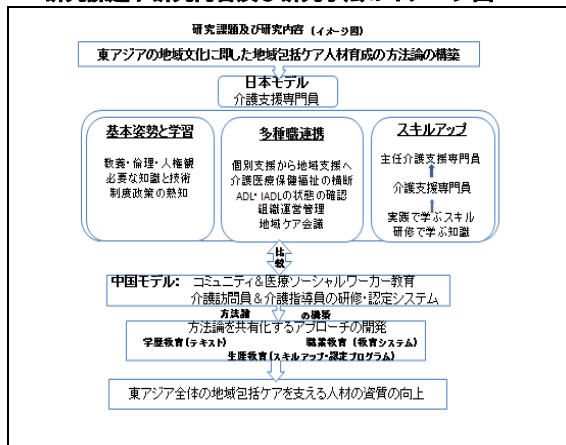
2. 研究の目的

本研究の目的は、日本国内での地域ケア人材育成に関する知見や手法をアジア（特に中国）という環境の中に置き、より広い視野でその方法論を理論的にまとめること、また、その方法論の共有化を実現していくアプローチを開発することである。

3. 研究の方法

方法論の共有化を実現していくためのアプローチを開発することに向けて、次の研究手法を試みた。まず、方法論の共有化できる日本モデルの雛形を中国の人材育成の現場に用いて実験する。たとえば、中国の実情を勘案したうえ、修正された日本介護のテキストや研修プログラム及び研修評価のシステムを北京、上海の研修現場に導入し、実験を繰り返した。さらに日中両国の研究者・実務家が参加するワークショップを通じて、方法論を共有化するアプローチを明確にする。

研究課題や研究内容及び研究手法のイメージ図



次に、地域の個別的・地域的な課題に対応する能力を有する介護人材養成の研究活動において、A 基本姿勢と学習、B 多職種連携、C スキルアップという三つの課題に対して、人材育成の方法論を理論的に検討してきた。（図を参照）

以上のプロセスを踏まえ、東アジア社会全体に適応できる地域ケア人材育成に関する学習・研修システム及び方法論の構築に関する研究成果を、産・官・学が参加するワークショップを通じて政策提言する。特に、職業教育及びスキルアップという生涯教育において、日中両国の方法論の相違を明らかにし、東アジアの地域文化に適合する方法論の構築をデザインする。

4. 研究成果

日本介護人材育成の知見は、中国ないし東アジア地域で共有化するに値する方法論を明示したことが主な研究成果である。

研究成果の1、共同参画・共同開発という趣旨に基づき、介護領域で活躍している日本と中国の研究者と実務家を迎え、合計6回のワークショップを行い、日本の経験を活かす教育プログラムを開発することに試みた。開催されたワークショップの趣旨と内容は、以下の通り。

1) 「中国で活用できる日本の高齢者ケア政策」
開催日時：2013年6月25日
開催場所：日本女子大学
主な参加者：北京師範大学、清華大学、関東学院大学、済生会の専門家、実務家が参加した。

2) 日本人講師によるケア人材育成の研修講座を実現させながら、研修講座を受けた介護職リーダーらを対象に事例検討のワークショップを行った。日本経験の汎用性について、この実験を通じて検証することができた。

開催日時：2014年7月5日
開催場所：北京師範大学中国公益学院
主な参加者：日本側の介護教育の専門家及び中国側の介護業界のリーダーたち。

3) 日本のケア人材職業訓練のプログラムを中国の介護文化に合わせて修正したものを中国介護教育の現場に導入し、教育実験を行った。

開催日時：2015年9月
開催場所：中国公益学院
主な参加者：日本側の介護教育の専門家及び中国側の介護施設の管理者、リーダーたち。

4) 「介護保険制度及び介護人材教育の方法」ミニシンポジウム

開催日時：2015年12月14日
開催場所：日本女子大学
主な参加者：中国の学者と介護現場の実務家及び日本の学者と介護現場の実務家

5) 「地域包括ケアのあり方及び人材育成の日中比較」国際研究集会
開催日時：2016年7月1日
開催場所：日本女子大学及び川崎市地域包括ケアセンター
主な参加者：川崎市地域包括ケアセンターと中国民政部の官員、日本側の学者

6) テーマ：「日本式介護の中国への応用」
開催日時：2016年12月24日
開催場所：上海YWCA介護施設現場
主な参加者：中国介護事業に進出した日本の介護企業の責任者、中国学者、現場の実務家
研究成果の2、以上のような研究及び社会実践活動を重ねた上で、日本介護モデルの理念及び実技教育の知見について、中国と共有化できるアプローチや評価の指標などを明らかにした。一方、日中両国の研究者・実務家が参与するワークショップを通じて、東アジアの生活文化に即した地域包括ケア人材育成の基本理念や手法について、共通認識を取ることができた。

研究成果の3、本研究の政策提言では、東アジアの生活文化に即した日本の地域包括ケア人材育成の実務経験は、中国ないし東アジア地域に普及する可能性が大きい。しかし、日本の介護制度と政策は、日本の地域社会の自治性や財政のあり方及び介護サービス供給組織の成熟度を基盤としている。これは、中国の現況と異なっているため、介護制度と政策における日本の知見が、中国への活用に制限されている。

研究成果の4、日本介護の知見を参考に編集した「介護施設長研修テキスト」(内部研修用)は、中国公益学院養老産業連盟の人材育成の教材として採用された。そのテキストの活用は、中国の介護職の職業教育及びスキルアップのための研修において、優れた教育効果をあげられている。

研究成果の5、研究成果を社会に還元するため、研究報告書を作成し、日本及び中国の関連研究機関、研究協力者に送付した。

5 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

【雑誌論文】(計15件)

- 1) 沈潔 「中国における介護保険制度の創設を巡って」『日本女子大学人間社会学部紀要』 査読なし NO27 2017年14-22
- 2) 沈潔 「浅談生活型社会政策」『社会政策研究』 NO2 査読なし 2017年53-60
- 3) 沈潔 「中国年金制度の改革」『CUC View Vision』 41巻 2016年17-23
- 4) 沈潔 「書評：中国農村地域における高齢者福祉サービス～小規模多機能ケアの構築に向けて」査読なし『社会福祉』NO56-3 2016年242-244

- 5) 沈潔 「中国介護福祉政策の動向と構造変化」『週刊社会保障』 査読なし NO2872 2016年50-56
- 6) 沈潔 「中国年金制度の構造改革の」『週刊社会保障』 査読なし NO2886 2016年54-59
- 7) 沈潔 「適度普惠型」福祉の形成と課題 『DIO 連合総研』 査読なし NO3192016年8-11
- 8) 沈潔 「転換期に入った中国の社会保障」『週刊社会保障』 査読なし NO2814 2015年50-55
- 9) 沈潔 「ポスト改革福祉とはなにか」『社会福祉』 査読なし 55巻 2015年58-72
- 10) 沈潔 「介護政策中凸頭生活主体思想」『中国社会政策研究』 査読なし 11集 2015年1-9
- 11) 沈潔 「介護福祉の政策目標」『社会保障研究』 査読なし 2014年1巻72-87
- 12) 沈潔 「社会保障と介護福祉」『海外社会保障研究』 査読なし 2014年 NO189 p32-43
- 13) 沈潔 「中国年金改革ビジョン」『週刊社会保障』 査読なし NO2746 2013年42-48
- 14) 沈潔 「適度普惠方福祉が意味するもの」 査読なし 『東亜』 NO0550 2013年87-94
- 15) 沈潔 「日中韓三国的社会保障発展路経分析」 査読なし 中国社会保障研究 2013年第1巻48-60

【学会発表】(計12件)

- 1) 沈潔・張継元 中国社会保障学会「ターミナルケアに関する日本での議論及び課題」 2016年6月中国西北大学
- 2) 沈潔・万琳静 東アジア社会保障国際論壇「中国介護推進における日本からの影響」 2016年9月大分大学
- 3) 沈潔 中国社会政策国際論壇「社会政策中の生活視点」 2015年6月 南開大学
- 4) 沈潔 東アジア社会保障セミナー「日本介護保険の検証と課題」 2014年5日人民大学
- 5) 沈潔 社会事業史学会「中国近代史におけるカトリック福祉活動の特色 上海カトリックの福祉活動を事例として」 2014年5月長崎純心大学
- 6) 沈潔 社会政策国際論壇「在老年介護政策中現生活主体思想」 2014年8月中国社会科学院
- 7) 沈潔 中国社会保障国際論壇「日本の大学における日本社会保障教育の経験と課題」 2014年9月人民大学
- 8) 沈潔 JICA 主催高齢化問題に関する第3回日中専門家会議「高齢者介護福祉における日中韓の共通課題と政策対話」 2014年3月東京
- 9) 沈潔 社会事業史学会「伝統的家族・地域と福祉の形成」 2013年5月淑徳大学
- 10) 沈潔 JICA プロジェクト第1回日中専門家会議「日本介護政策の示唆」 2013年6月 日本女子大学
- 11) 沈潔 JICA 主催高齢化問題に関する第2回日中専門家会議「介護福祉政策の日中韓比

較」2013年9月 北京
12)沈潔 東アジア社会保障国際論壇「日本
社会保障教育体系と教材」2013年8月浙江大
学

〔図書〕(計9件)

- 1)沈潔・澤田ゆかり編著『ポスト改革期の中国社会保障はどうなるのか』ミネルヴァ書房 2016年
- 2)沈潔執筆『現代中国政治概論』明石書店 2015年3月 221-230
- 3)沈潔著『中国の社会福祉改革は何を目指そうとしているのか 資本主義と社会主義の調和』ミネルヴァ書房 2014年11月
- 4)沈潔執筆『現代社会と社会福祉』修正第4版 中央法規 2014年 320-341
- 5)沈潔編者 4-1『東亜地域社会保障論』 2014年人民出版社 121-133
- 6)沈潔執筆『中国年鑑』中国研究所 2014年 146-154
- 7)沈潔執筆『デモクラシーとコミュニティ 北東アジアの未来を考える』未来社 2013年 288-311
- 8)沈潔執筆『現代社会と福祉』ミネルヴァ書房 2013年 268-278
- 9)沈潔執筆『現代社会と福祉』第3版中央法規 2013年 320-340

6. 研究組織

- (1)研究代表者 (1)
沈 潔 (SHEN, jie)
日本女子大学・人間社会学部・教授
研究者番号： 2 0 3 0 5 8 0 8
- (2)研究分担者 (0)
研究者番号：
- (3)連携研究者 (1)
包 敏 (BAO min)
広島国際大学医療福祉学部 教授
研究者番号： 0 0 3 5 2 0 1 3
- (4)研究協力者 (海外 3)
王 思斌 (WANG sibirin)
北京大学社会工作系

王 振耀 (WANG zhenyao)
北京師範大学公益学院

左学金 (ZUO xuwjin)
(元)上海社会科学院副院長